



福岡市政だより

令和4(2022)年

9/1

No.1715

皆さんの健康のために

ふくおか安心 500 ワンコイン



ワンコインメニュー

〈詳細は2面に掲載しています〉

- 3歳～中学3年生の通院費(1医療機関 1カ月当たり)
- 40～74歳の市国保加入者の健診「よかドック」
- 30～39歳の健診「よかドック30」
- 40歳以上の大腸がん検診
- 40～64歳の肺がん検診
- 40歳以上の骨粗しょう症検査
- 30歳女性のAMH検査※
- 35・40・50・60歳の歯科節目健診
- 75歳以上の後期高齢者健診



※AMH(抗ミュラー管ホルモン)検査…血液検査だけで卵巣内の卵子の数を推定します

市長からのメッセージ

「ふくおか安心ワンコイン」で健康に

市は、市民の皆さんがワンコイン(500円)で、気軽に医療や検診などを受けられるよう、さまざまな助成を行っています。

例えば、3歳から中学3年生までのお子さんの1カ月にかかる通院費の自己負担額は、1医療機関当たり500円までです。そのほか、生活習慣病予防のための健康診断や、がん検診、歯科節目健診なども、それぞれ500円で受けることができます。

自分の体の状態を知ることとても大切です。皆さんの健康な毎日のために「ふくおか安心ワンコイン」をご利用ください。

福岡市長 高島宗一郎



今号の主な内容

- <特集>ふくおか安心ワンコイン 1-2
 - 救急の日 大切な命を救うために 3
 - 新型コロナウイルス関連情報 4
 - グランドピアノの修復・保存にご協力を 5
 - 9月～10月はアジアンパーティ 6
 - 新規屋台営業者を募集 7
 - 情報BOX 8-15
 - 区版 16
- ※本紙掲載の情報は、8月18日時点のものです。
・中面折り込み「健診ば、うけてみらんね」

人口 1,629,837人 (前月比708人増)

男=768,806人/女=861,031人

世帯数 856,204世帯 (前月比647世帯増)

※人口と世帯数は令和4年8月1日現在推計

面積 343.47km²

ダムの貯水率 55.6% (8月18日現在)



- 市役所代表電話 ☎711-4111 (市外局番は092)
- 市政に関するご意見・要望・相談 広聴課 ☎711-4067 733-5580
- 福岡市政だよりの配布 毎日メディアサービス ☎0120-359-303



SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、持続可能な社会の実現を目指す17の国際目標です。福岡市は、SDGsの達成に向けたさまざまな取り組みを進めています。

医療や健診などにかかる費用を市が負担します

ふくおか安心 ワンコイン



市は、市民の皆さんが健康に安心して生活できるように、子ども医療費の助成のほか、さまざまな健(検)診費用などを助成しています。その中から自己負担500円で気軽に受けることができるメニューをまとめて紹介します。



市健康づくり
イメージキャラクター
「よかるーもん」

子どもの通院医療費の助成

市内に住み、健康保険に加入している中学3年生(15歳の誕生日前日以降の最初の3月31日まで)までの子どもを対象に、医療費の助成を行っています。

3歳〜中学3年生の通院医療費の自己負担は、1カ月につき500円までです(1医療機関当たり)。3歳未満の子どもは、医療費の自己負担はありません。「健康保険証」と「子ども医療証」を病院や薬局等の窓口で提示してください。

なお、中学3年生まで、入院および薬局での自己負担はありません。詳細は表1の各区(出張所)保険年金担当課へ問い合わせを。

【問い合わせ先】 各区(出張所)保険年金担当課(表1)

| 区(出張所) | 電話 | ファクス |
|--------|----------|----------|
| 東 | 645-1102 | 631-6463 |
| 博多 | 419-1118 | 441-0075 |
| 中央 | 718-1124 | 725-2117 |
| 南 | 559-5152 | 561-3444 |
| 城南 | 833-4123 | 844-6790 |
| 早良 | 833-4372 | 846-9921 |
| (入部) | 804-2014 | 803-0924 |
| 西 | 895-7090 | 883-6690 |
| (西部) | 806-9432 | 806-6811 |

生活習慣病とがん予防のための健(検)診

次の健(検)診を、各区保健福祉センター、健康づくりサポートセンター(中央区舞鶴二丁目)、および市内の医療機関等で実施しています。受診場所と予約先は表2の通りです。詳細は、表3の各区健康課にお問い合わせください。

●よかドック

市内に住む40〜74歳の市国民健康保険加入者が対象です(今年度40、50歳になる人、満70〜74歳の人は無料)。▽身長・体重・腹囲測定▽血圧検査▽尿検査▽血液検査▽心電図検査▽問診―など、1万円相当の健診が受けられます。健診の結果、生活習慣の改善が必要な人には、医師や保健師等が保健指導も行います。受診の際は、県国民健康保険証と受診券を持参してください。



●各種健(検)診の受診場所と予約先(表2)

| 受診場所 | 予約先 |
|---------------|--------------------------------------|
| 各区保健福祉センター | 集団健診予約センター ☎0120-985-902 |
| 健康づくりサポートセンター | 健康づくりサポートセンター ☎751-2806 📠751-2572 |

※実施医療機関は、ホームページ(「けんしんナビ」で検索)に掲載しています。各医療機関に直接予約してください。

●よかドック30

市内に住み、職場等で同等の健康診査を受ける機会がない30〜39歳の人が対象です。よかドックから心電図を除いた項目の健診が受けられます。※各区保健福祉センターでは実施していません。

受診者は、健康づくりサポートセンターで無料の個別健康相談を受けることができます。

●大腸がん検診

大腸がんは、早期に発見できれば治癒の可能性が高い病気です。職場等で受診機会がない40歳以上の人を対象に、採便による便潜血検査を行います。

●肺がん検診

職場等で受診機会がない40歳以上の人を対象に、胸部エックス線検査を行います(65歳以上の人は無料)。※医療機関では実施していません。

喫煙者など一定の条件に該当する50歳以上の人は、別途700円で喀痰細胞診も行います。

●骨粗しょう症検査

市内に住む40歳以上の人を対象に、各区保健福祉センターと健康づくりサポートセンターで実施しています(70歳以上の人は無料)。検査希望日の10営業日前までに表2の予約先へ連絡してください。詳細は、表3の各区健康課にお問い合わせを。※医療機関では実施していません。

前腕部にエックス線を当てて骨量を測定します。妊娠中の人(可能性のある人も含む)、骨粗しょう症で治療中、または経過観察中の人は受診できません。

●AMH(抗ミュラー管ホルモン)検査

プレコンセプションケア(※)

【問い合わせ先】各区健康課(表3)

| 区 | 電話 | ファクス |
|----|----------|----------|
| 東 | 645-1078 | 651-3844 |
| 博多 | 419-1091 | 441-0057 |
| 中央 | 761-7340 | 734-1690 |
| 南 | 559-5116 | 541-9914 |
| 城南 | 831-4261 | 822-5844 |
| 早良 | 851-6012 | 822-5733 |
| 西 | 895-7073 | 891-9894 |

75歳以上の人は 後期高齢者健康診査

75歳以上の人は、県後期高齢者医療広域連合が行う健康診査を500円で受けることができます。



検査項目は、問診・診察、身体計測・血圧測定・血液検査・尿検査です。また、医師が必要と判断した場合には、貧血検査や心電図検査などを行います。

■問い合わせ先/県後期高齢者医療広域連合お問い合わせセンター(☎651-3111 平日午前8時半〜午後5時半 📠651-3901)

を推進する取り組みの一つとして、市内に住む30歳の女性を対象に、AMH(抗ミュラー管ホルモン)検査にかかる費用の助成を行います。血液検査で卵巣内の卵子の数の目安(卵巣予備能)が分かり、結果を基に医師から健康や将来についての助言が受けられます。

実施医療機関はホームページ(福岡市医師会 プレコンセプションケア)に掲載しています。事前予約の上、市から送付されたクーポン券を持参して受診してください。

※妊娠(コンセプション)の計画の有無にかかわらず、早い時期から妊娠・出産の知識を持ち、自分の体と健康への意識を高めること。

■問い合わせ先/子ども健全育成課 ☎711・4065 📠733・5534

●歯科健診

歯周病は、痛み等の自覚症状が出にくいため、定期的に歯科

医院でチェックを受け、早期に発見・治療することが大切です。市内に住み、今年度35・40・50・60・70歳になる人を対象に、約680の歯科医院で「歯科健診」を実施しています(70歳の人は無料)。歯と歯茎の診査を行い、状態に応じたケアの方法を指導します。※当日は健診のみで、治療は行いません。

実施医療機関は、ホームページ(福岡市歯科医師会)に掲載しています。事前予約の上、受診の際は、住所・年齢等が確認できるものを持参してください。

■問い合わせ先/口腔保健支援センター ☎711・4396 📠733・5535

◇ いずれも料金は500円です。市民税非課税世帯や、生活保護受給世帯のほか、年齢等によって料金が免除される場合があります。詳細は、市ホームページ(福岡市 安心ワンコイン)で検索してください。

9月9日は救急の日

大切な命を救うために



昨年、市の救急車の出動件数は7万8424件でした。今年にはさらに増加傾向にあります。市は、32台の救急車を昼夜問わずフル稼働させて、救急要請に応じています。

救急現場に居合わせたとき、どんな行動を取ればよいのか、市消防局救急課の中村美由紀さんに聞きました。



消防司令補で救急救命士の中村美由紀さん

もし目の前に倒れている人がいたら、一刻も早い応急手当が必要で、事故などに巻き込まれないよう、まず自分の身の安全を確保し、傷病者の状態を



救急車内での救急活動

10月の救命講習

AEDの使い方や心肺蘇生法などを学ぶ救命講習を実施します。詳細は、市ホームページ(「福岡市 救命講習」で検索)で確認するか、問い合わせを。

市内に住むか通勤・通学する人無料電話で下表の申し込み先へ。受付開始日は9月①②1日③④13日。市ホームページでも受け付けます。

| 種類 | 実施日 | 定員(先着) | 会場・申込先・電話 |
|------|--------|--------|---|
| ①入門 | 26日(水) | 25人 | 南消防署(南区塩原二丁目) ☎541-0219 |
| ②普通1 | 12日(水) | 25人 | 博多消防署(博多区博多駅前四丁目) ☎475-0119 |
| | 15日(土) | 35人 | 東消防署(東区千早四丁目) ☎683-0119 |
| | 19日(水) | 30人 | 西消防署(西区今宿東一丁目) ☎806-0642 |
| | 23日(日) | 30人 | 中央消防署(中央区那の津二丁目) ☎762-0119 |
| | 24日(月) | 20人 | 会場:市民防災センター(早良区百道一丁目) 申込先:早良消防署 ☎821-0245 |
| ③普通3 | 14日(金) | 30人 | 消防本部(中央区舞鶴三丁目) ☎791-7151 |
| ④上級 | 7日(金) | 各30人 | |
| | 18日(火) | | |

※時間は①午前10時~11時半②③午前10時~午後1時④午前9時~午後5時。このほか、応急手当普及員講習および応急手当普及員再講習もあります。詳しくは救急課へ問い合わせを。

もし目の前に倒れている人がいたら、一刻も早い応急手当が必要で、事故などに巻き込まれないよう、まず自分の身の安全を確保し、傷病者の状態を確認して、必要に応じて119番通報をしてください。救急要請の中には、緊急性が低いと思われるケースも少なくありません。救急車を呼ぶべきか迷う場合は、#7119に連絡してください。救急医療電話相談窓口につながり、看護師が症状を聞いて救急車の必要性を判断してくれます。また、最寄りの医療機関も案内します。本当に必要な人の所にいち早く駆け付けられるよう、救急車の適正利用をお願いします。

●**応急手当での協力**
応急手当が遅れば遅れるほど、救命率が下がります。傷病者の症状に応じ、手当ての方法



人はいつ、どこで病気やけがに襲われるかわかりません。いざというときのために、応急手当での知識と技術を身に付けておきましょう。消防局では、毎月救命講習を

などを指令センターの指令員が順を追って伝えますので、救急車が到着するまでの間、心肺蘇生やAED(自動体外式除細動器)を使うなど、応急手当をお願いします。完璧にできなくても構いません。あなたの行動で助かる命があります。周囲にも助けを求め、勇気を出して行動してください。

ライブ「Live119」の運用を開始 現場の映像をご提供ください



送受信にかかる通信料は通報者負担になります

9月1日(木)から、119番通報の際に、通報者から映像で現場の状況を伝えてもらう「Live119」の運用が始まります。

指令員が現場の映像を必要と判断した場合、通報者のスマートフォンにショートメッセージで映像の送信を依頼します。指令員は、送られてきた映像を確認し、応急手当での動画を送信することもできます。

詳細は、市ホームページ(「福岡市 Live119」で検索)で確認するか、情報管理課(☎725-6591 F725-6592)に問い合わせを。

子どもたちにも伝えています

小中学校で救命講習を実施

消防局と教育委員会が連携し、平成25(2013)年度から、市立の小学5年生と中学2年生に救命講習を実施しています。

毎年各学校から1人の教職員を救命講習の指導者(応急手当普及員)として養成し、その教職員が、心肺蘇生法やAEDの使い方を児童・生徒に教える取り組みです。927校で実施され、11万1544人が学びました(令和4年3月現在)。

夏休み直前に救命講習を実施した、席田小学校(博多区)の江田謙作教諭に左写真に聞きました。



「真剣に学ぶ子どもたちに頼もしさを感じました」と話す江田教諭



体験用キットを使って心肺蘇生を行いました

心肺蘇生を行う際の力の入れ加減やスピードなど、実際にやってみるからこそ分かることがあります。授業の最後には、通報から心肺蘇生まで、救命活動に必要な一連の流れを復習しました。子どもたちもAEDの存在を意識するようになったようです。これからも救命活動の大切さを伝えていきます。



敬老の日に「火の用心」の贈り物を

9月1日(木)~21日(水)は、国が定めた「住宅防火・防災キャンペーン」期間です。

昨年の住宅火災による死者10人のうち、6人が高齢者でした。大切な人を守るため、9月19日(月・祝)の敬老の日に住宅用防災機器を贈りませんか。

火災の煙をいち早く感知し、音や光で火災を知らせてくれる住宅用火災警報器は、条例で設置が義務付けられています。



初期消火に有効な住宅用消火器も一家に1本備えておきましょう。



このほか、防災品(燃えにくい素材でできた衣服や寝具等)もあります。

■問い合わせ先/消防局予防課 ☎725-6611 F791-2699